

手をつなごう2007

平成19年 6月11日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 6

第1回専門家チーム 巡回相談員連携会議 開催



6月4日(月)、備前地域の連携会議を開催しました。この日を逃すと1学期中に開催できないかもしれない…と、急な開催決定となったのですが、皆さん、何とか都合をつけてご参加くださいました。

(ありがとうございました!)

この会議は「巡回相談員の資質向上」「巡回相談に必要な関係機関との情報共有」などを目的としています。

今回は今年度の初回ということで、お互いの顔合わせ、サポート事業の共通理解、会の持ち方の確認などを中心に話し合いました。

支援依頼が次々と入っている現状ですので、皆さんの存在はとても心強く、ありがたく感じました。お互いに協力し合って、よりよい支援をしていきたいものです。

昨年度より、高等学校もサポート事業の対象になったこともあり、高等学校からの依頼も少しずつ増えてきています。

今のところ「職員の研修を…」という依頼がほとんどですが、発達障害について研修しなくてはという意識が高まっているのだと思います。

高校進学率が97%という現在、全国ほとんどの高等学校に学習面や生活面で特別な教育的支援を必要としている生徒が在籍していると予想されます。

そのため、今年度文部科学省は、国公立の高等学校における支援モデル10校による研究を行います。専門家を活用したソーシャルスキルの指導や授業方法・教育課程上の工夫、就労支援などについての実践的な研究のようです。

研究の成果が待たれるところですね。

高等学校からの依頼

発達障害の生徒が在籍する高等学校では

入学してしばらく経過してから
「変わった生徒」「指導しにくい
生徒」と気づく場合が多い。

生徒の学習上の困難さが本人の
努力不足によるものと捉えられ
がちである。

行動上の問題等は生徒指導上の
問題や家庭における養育の問題
として取り扱われることが多い。



まずは気づくことが支援の始まりです!